

兵庫県のり漁場環境情報 (西播海域 3 号)

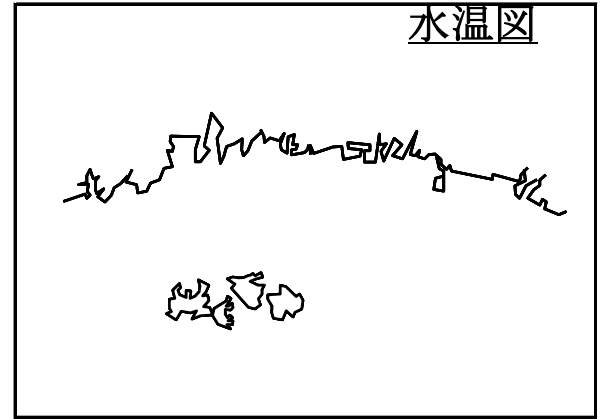
2022年10月28日発行
兵庫のり研究所

西播地先漁場において、小型珪藻のキートセロスとタラシオシラ等が多く発生しています。沖合漁場では、タラシオシラが散見されますが、発生量は非常に少ない状況でした。そのため窒素は、陸水等の影響により特異的に高い地点を除き、地先漁場では $1 \mu\text{g at/L}$ 以下、沖合漁場では概ね $4 \mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻ほか)

西播地先漁場では、小型珪藻のキートセロス、タラシオシラ、スケルトネマが多く確認された。また、赤穂漁場を除き、塊状の群体を形成するキートセロス・ソシアリス、タラシオシラ・ディポロキクラスの2種が多く発生していた。沖合漁場において、前回(10/19)調査では確認されなかったタラシオシラ・ディポロキクラスが、わずかであるが散見された。

赤穂漁場では、陸水等の影響により、アンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	4.3	1.0	4.4	0.6
	リン	0.60	0.37	0.55	0.36
家島・坊勢	窒素	4.1	4.4	4.4	1.1
	リン	0.65	0.73	0.60	0.37

(10/19) (10/22)

栄養塩 (窒素) 図

2022年10月28日調査

